

平成30年(2018年)2月号

いんふおめーしょん information

(「くにたちのとしょかん」通号146号)

くにたち中央図書館

〒186-0003 国立市富士見台2-34

☎042-576-0161

くにたち北市民プラザ図書館

〒186-0001 国立市北3-1-1 9棟

☎042-580-7220

<https://www.library-kunitachi.jp>



そろそろ梅の開花が待ち遠しい季節となってきました。梅は谷保天満宮に祀られている天神様(菅原道真公)が好んだと言われている花です。国立市の市章も梅の花の形をしていますね。桜並木で有名な国立市ですが、あんがい梅の花ともご縁が深いようです。お時間がある時に、梅のお花見を楽しんではいかがでしょうか。

さて今月号は、くにたち図書館のWEBサービスと、YAの新しい展示のご案内をいたします。芥川賞・直木賞についてのコラムもあります。



WEB サービスをご利用ください

くにたち図書館のホームページ、または館内の端末(OPAC)から、どなたでも「資料検索」ができます。

以下のサービスをご利用いただくにはログイン用のパスワードが必要です。パスワードは各カウンターで発行いたしますので、利用カードをお持ちの上ご来館ください。ログイン後にご自身でパスワードを変更することができます。

<ログインして利用できるWEBサービス>

- ・資料予約 (WEB 予約)
- ・ご自身の貸出・予約状況の確認
- ・貸出資料の期間延長手続き
- ・「今度読みたい本」の登録

※WEB予約する前にメールアドレスの登録をお願いいたします。登録がない場合は自動的に「連絡不要」が選択されます。電話やFAXでの連絡はできませんのでご了承ください。

※パスワードを忘れてしまった場合は再発行いたしますので、カウンターにお声掛けください。

メールアドレスの登録にご協力ください

現在「電話」「FAX」で予約連絡を希望されている方にも「メール」を推奨しています。ご不在に関わらず連絡がつかますので、お早く予約資料を受け取っていただくことができます。ぜひご登録ください。



<メール登録における注意事項>

- 予約の連絡メールは kunitachi@library-kunitachi.jp から発信されます。
- ご登録後は図書館から確認メールが送信されます。確認メールが届かない場合は、上記のアドレスからのメールが受信できるよう設定を行ってください。

YA 企画

国立第二中学校の POP コンクール作品 を展示します！

国立市立第二中学校では、図書委員会主催の POP コンクールが行われました。

POP を作るのは、もちろん生徒の皆さん。自分が好きな本や人におすすめしたい本を選び、紹介文やイラストを駆使して POP を作成します。応募された POP は投票期間を経て、受賞作品が決まるのだそうです。

今回、コンクールに応募された作品の一部を中央図書館で展示します。どの作品も力作揃い！ ぜひ足をお運びください！

展示期間：2018年2月

展示場所：中央図書館内 壁面



YA コーナー展示

一橋大学生の読書感想文

12月13日(水)から1月15日(月)まで、中央図書館1階のYAコーナーにて、一橋大学のサークル「チーム・えんのした」の方々が、本についての読書感想文を書き、その感想文を本と一緒に展示しました。

読書感想文を書くときの参考にしたり、他の人の感想文を知ることで、新しい発見があったりなど、色々な楽しみ方が出来る展示になりました。

今後も、大学生の若い力を借りながら、YA世代がもっと読書を好きになってくれるような展示を実施していきます！



コラム

芥川賞と直木賞って？

1月には2017年下半期の「芥川賞」と「直木賞」が発表されました。みなさんはこの2つの賞がどんな「賞」なのかご存知でしょうか。関連書籍から気になる部分を集めてみました。

芥川龍之介賞

故芥川龍之介の名を記念し、文芸春秋社が「文芸春秋」昭和10年1月号に「芥川・直木賞宣言」を発表して、直木賞と同時に創設。無名、もしくは新進作家の登竜門として、最も権威ある賞とされている。

直木三十五賞

故直木三十五を記念して、芥川賞と同時に昭和10年に制定された賞で、無名もしくは新進作家の大衆文芸作品のうち、最も優秀なものに贈られる。芥川賞とともに一流作家への登竜門として最も権威ある賞とされている

『最新文学賞事典』日外アソシエーツ/編集・発行 1989 より

芥川賞はともかく、直木賞も「無名もしくは新進作家」が対象だったとは、少し意外な気がします。

1934年(昭和9)に直木三十五が没したとき、文芸春秋社長であった菊池寛は、先に死去した芥川龍之介とともに、この二人の名を記念し、新進作家に文学賞を贈ることを思いつき、設立したのが芥川賞、直木賞であった。

この二つの賞は1935年(昭和10)7月から実施され、1年を上半期、下半期の2回に分けて授与されることになっている。正式名称は、「芥川龍之介賞」「直木三十五賞」で、授与は財団法人日本文学振興会主催となっている。(～中略～)

なお、両賞とも同時に二人の受賞となった際の名前の配列順は、銚衛委員会の席上、早く決定した方が先になっており、厳然たる意味がある。

『芥川賞・直木賞受賞者総覧』 満川徳二/ほか編 教育社 より

二人同時受賞の「名前の順番」に意味があるなんて思いもよらなかったです。先日の芥川賞を受賞された石井さんと岩竹さん、どちらか先だったか、いまさらながらに気になってきました！

純文学と大衆文学、短篇と長篇、雑誌掲載と単行本……といった両賞の基準は、実はそう厳密なものではありません(文藝の世界では、曖昧さも時に必要な気がします。)ただ、「審査は絶対公平」という、創設者の菊池寛の方針だけは一貫して守られています。

両賞が長く支持され話題を提供してきた理由は、一つではなく二つの文学賞を、同時に設けたことではないでしょうか。そこには、売れない純文学作家にして大ベストセラー作家であった菊池寛の経験が生かされています。彼は、文学と社会との接点を常に意識し続けた作家であり出版人でした。

『芥川賞・直木賞150回全記録』 文芸春秋 より

『芥川賞・直木賞150回全記録』には、第150回までの受賞作家の写真が多数掲載されており、二つの賞の歴史をグラフィックから感じることができます。

文学賞に関連した書籍は「910/26/」という分類にあります。「受賞作」を読むのもいいですが、「賞」そのものを調べてみるのも面白そうですね。

一般：今月の本棚（中央館1階）

特集：～ 春よ、来い～

2月4日は立春です。暦の上では「春」ですが、まだ寒い日が続きますね。それでも春の先駆けとして、各地から梅の花の便りが届きます。

『東風吹かば匂ひおこせよ梅の花』と詠んだ菅公を祀る天満宮には、多くの梅の花が見られ、わか町の天満宮でも「梅まつり」が開催されます。

冬の寒さを吹き飛ばし、まもなく訪れる春を感じさせるものや、各地の行事の本などを集めました。



児童：今月の本棚（中央館2階階段踊り場）

特集：雛人形展示

3月3日は女の子の健やかな成長と幸せを願うひなまつり。上巳の節句ともいわれます。その由来を調べてみませんか？



『ひなまつりにおひなさまをかざるわけ』
瀬尾七重／作 岡本順／絵 教育画劇
E/3

熱が下がらなくなった妹を必死で看病する兄。病気を治したのは、妹が大切にしていた木ぎれの人形でした。おひなさまを飾る由来となったお話が書かれています。

『もりのひなまつり』こいでやすこ
／さく 福音館書店 E/こ

森の近くの家の蔵に住んでいるねずみばあさんのところに、のねずみたちから「森のひなまつりをしたいので、おひなさまを森に連れてきて下さい」という手紙が届きました。

大人のためのお話会

～昔話の語りをきいてみませんか～

くにたち図書館で行なっているお話会（昔話や物語等を語るストーリーテリング）を、大人の方向けに行います。ぜひご来場ください。

参加は無料、申込みは不要です。途中入場はできませんので、定刻までにお越しください。

問合せ 中央図書館 042-576-0161

〈第六回・最終回〉

日時 2月23日（金）

午後2：30～（2：00開場）

場所 中央図書館2F

内容 「ゆきんこ」

「はなたれ小僧さま」など

お話 くにたちお話の会



2月の各図書館イベント一覧



中央図書館	北市民プラザ図書館	南市民プラザ分室	下谷保分室	青柳分室	東分室
042-576-0161	042-580-7220	042-580-7216	042-580-7215	042-540-7367	042-580-7219
●おひざにだっこ (0~2歳)	●わらべうたであそぼう (1歳半~3歳)	月・水・木・金 午後2時-5時 土・日 午前10時-5時	月・金 午後2時-5時	水・金 午後2時-5時	水・木・日 午後2時-5時 金・土 午前10時-5時
第1・2水曜日 ①午前10:00- ②午前10:30- →7,14	第4月曜日 午前10:30- →26	●南書庫公開 第2・4土曜日 午前10:00-正午 →10, 24	●えほんとおはなし のじかん 毎週月曜日 午後3:00- →5,19,26	●おひざにだっこ (0~2歳) 第1・3・5水曜日 午後3:00- →7,21	●おひざにだっこ (0~2歳) 第3土曜日 午後3:00- →17
●えほんのじかん (2歳以上)	●えほんのじかん (2歳以上)	●えほんのじかん (2歳以上)	●えほんとおはなし のじかん	●えほんとおはなし のじかん	●えほんのじかん (2歳以上)
毎週水曜日 午後3:00- →7,14,21,28	毎週水曜日 午後2:30- →7, 14, 21, 28	第2・4水曜日 ①午後3:00- ②午後3:30- →14,28	●えほんとおはなし のじかん	第1・3・5水曜日 午後3:30- →7,21	毎週水曜日 午後3:30- →7,14,21,28
毎週土曜日 午前11:00- →3,10,17,24	●おはなしのじかん (5歳以上)	毎週日曜日 午前11:00- →4,11,18,25	●えほんとおはなし のじかん	●工作のじかん	毎週金曜日 午後3:30- →2,9,16,23
毎週日曜日 午前11:00- →4,18,25	毎週水曜日 午後3:30- →7, 14, 21, 28		毎週金曜日 午後3:00- →2,9,16,23	第4水曜日 午後3:30- →28	毎週日曜日 午後3:30- →4,11,18,25
●おはなしのじかん (5歳以上)					●おはなしのじかん
毎週水曜日 午後4:00- →7,14,21,28					第2・4金曜日 午後3:45- →9,23
毎週土曜日 午後3:00- →3,10,17,24					
●かみしばいのじかん					
第2日曜日 午前11:00- →11					

開館時間

中央図書館

午前9:30~午後7:00
(土・日・祝日は午後5:00まで)
火曜日休館

北市民プラザ図書館

午前9:30~午後5:00
(祝日を除く水曜は午後7:00まで)
火曜日休館

【祝日の開館について】

中央・北市民プラザ図書館は、祝日も開館
各分室は、開室日が祝日にあたる場合は休室、
ただし、祝日が土日の場合は開室いたします。

“ブックスタート” 新生児に絵本のプレゼント

「ブックスタート」は、赤ちゃんに絵本をプレゼントする事業で、保健センターの新生児の3・4ヶ月検診の際に実施しています。

保健師の面談・身体測定・医師の問診のあと、ボランティアによる赤ちゃんと保護者への絵本の読み聞かせが始まります。パッチリ目を開け、絵本に見入ることもあれば、すっかり疲れてねんねのことも。喃語のころですから、おしゃべりしてくれることもあります。読んだ絵本は図書館の利用案内などと共にそのままプレゼント。

図書館としては、その後の「読書」に繋げることが事業の目的ですが、絵本を介して親子がほっとする時間づくりのお手伝いになれば幸いです。

